令和８年度　南戸塚中学校　**美術科**　評価の仕方

１　学校教育目標（知）
自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします。

２　教科の目標
〇感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、総合的に創意工夫して美しく描いたりつくったりする。
〇美術作品などの造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現	〇技能 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して表している。 ・制作に順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。 **〇知識** **・形や色、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。** **・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などでとらえることを理解している。**	〇発想や構想に関すること ・対象や事象を深く見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し心豊かに表現する構想を練っている。	〇美術の創作活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えた子などを基にした表現の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞		〇鑑賞に関すること ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を広げている。	〇美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品などの鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

４　評価の仕方

	〇アイデアスケッチ 作品制作の過程において様々な可能性を試し、発想を広げようとしているかなどをプリントやスケッチなどで評価します。 **〇作品** 作品の中間採点や、完成作品で作品制作に必要な技能が身についているかを評価します。 **〇定期テスト** 定期テストで作品制作に必要な知識を身につけているか、またその知識を作品制作に生かし、応用できるかを評価します。	**〇作品** 作品の中間採点や、完成作品で作品制作に必要な技能が身についているかを評価します。 **〇定期テスト** 定期テストで作品制作に必要な技能が身についているかを出題して評価します。	**〇作品カード** 作品ごとに自己の作業の様子と完成作品を振り返り、自己の作品だけでなく友達の作品を認め、学びあう姿勢が身についているかを評価します。 **〇鑑賞カード** 鑑賞の授業で美術作品や友達の作品のよさや美しさを味わい、文章にまとめる力があるかを評価します。 **〇定期テスト** 定期テストで鑑賞に関する記述式の問題を出題し、美術作品を味わう姿勢を評価します。